

令和7年11月6日

◎加藤委員長 ただいまから、決算特別委員会を開会いたします。

(9時57分開会)

◎加藤委員長 御報告いたします。

田中委員から所用のため本日の委員会を欠席したい旨の届出がっております。

もう一点御報告いたします。

11月4日の委員会において、田中委員から国民健康保険課への御質問があり、それに対する資料の提出がありましたので、データを健康政策部のフォルダに格納しております。

本日の委員会は、11月4日に引き続き、「令和6年度一般会計及び特別会計の決算審査について」であります。

お諮りいたします。

日程については、日程案によりたいと思いますが、御異議ありませんか。

(異議なし)

◎加藤委員長 御異議ないものと認めます。

《警察本部》

◎加藤委員長 それでは、警察本部について行います。

初めに、本部長の総括説明を求めます。

なお、本部長に対する質疑は、会計課長に対する質疑と併せて行いたいと思いますので、御了承願います。

(総括説明)

◎加藤委員長 続いて、会計課長の説明を求めます。

(執行部の説明)

◎加藤委員長 質疑を行います。

◎岡本委員 2点ほどお聞きしたいんですけども、1点目はヘリコプターです。この間、ニュース等で見た中で、ドクターヘリのパイロットの不足が言われておりました。令和6年度の状況を教えていただけますか。

◎中野警備部長 県警のヘリコプターですが、現在操縦士が3名、整備士が2名となっております。報道であったとおり徳島とかはドクターヘリが飛ばなくなっているということですが、今のところ整備士2人が日勤で勤務しているんですが、急な出動になれば呼出しで対応するようにしています。

◎岡本委員 年齢的な問題もあって退職して辞めていかれることもあろうかと思うんですけど、その辺り、令和6年度決算状況の中では、継続もしっかりやっていける判断でしょうか。

◎中野警備部長 操縦士につきましては、50代と40代と30代がおります。順番の年齢構成

になっていますので、今のところ引継ぎができる、また、退職になれば補充という感じになろうかと思います。

◎岡本委員 次に、交通安全施設の維持管理費のことでお聞きしたいんですけども、7ページから8ページにかけてです。前にも質疑したことがあるんですけど、消えた横断歩道の問題です。これは全県下的に問題になっていまして、どれぐらい必要箇所があって、令和6年度ではどれだけ改修されてきたのか教えていただけますか。

◎森交通部長 令和6年度予算ベースでは7,727万円をつけていただきまして、実績としましては、令和6年度中に559本の横断歩道の補修を行っています。各署から、補修の要望が上がってきておりますが、これに対して、約半分程度を補修できている状況です。年度のうちにできないところも一部残ってしまうところで、繰越した部分については、翌年度、早急にやる形で補修を進めております。

◎岡本委員 県民の命を守る横断歩道ですから、半分ということで、ちょっと弱いなあと。令和6年度に半分ということで令和7年度に執行されていると思うんですけども、いつまでという考え方は持っておられるんでしょうか。

◎森交通部長 横断歩道につきましては、道路の交通量が多ければ多いほど早く消えていくので、早ければ4年ぐらい、長くもって8年ぐらいで消えてしまう計算になります。そういうことを考えると、今の予算では到底追いつかない状況ですので、優先順位をつけながら、危険箇所から順次進めている状況です。

◎岡本委員 決算の審査じゃなくて要望になりますけれども、やはり命を守るという観点で、ぜひ予算をつけてしっかりと執行してもらえるような体制を取っていただきたいことをお願いしておきます。

◎土居委員 報償費についてですが、所属別の御報告もありました。本部長の御説明の中でも、組織犯罪対策課などは昨年に引き続いて大きく活用されているところで、報告からも活動の充実さが伝わってくるのですが、捜査第一課であるとか、幾つかの部分については、令和5年度に比べて報償費が大分下がっています。こういった増減は、それぞれの課の活動状況に何か影響があっているのか、特に問題はないのか。その辺についてどうなのかを教えていただきたいと思います。

◎田中総務部参事監兼会計課長 前年度ベースで比較した場合に執行額が下がったのは、前の年には知事選挙であったり高知市長選挙であったりとか、捜査費を執行する機会が多い事件捜査があったんですけども、それがなかったことと、昨年度は県費事件で捜査をしていた事件が国費認定になりまして、県費から国費に切り替わったことで県費の執行額が若干減少してしまった背景が見えたと思います。

◎土居委員 それぞれの課の活動には特に支障がないのですね。

もう1点、街頭防犯カメラ等設置支援事業費補助金ですけども、予算額に比べて不用額

が多いですが、街頭防犯カメラということで、地域住民の安全に直結するカメラであろうかと思えますし、また犯罪捜査でも、こういったカメラの有用性が高いことも特に聞くところですよ。予算が787万5,000円、活用が370万円ぐらいで、400万円ぐらいの不用が出ていますけど、どんな理由なのか教えてください。

◎田中総務部参事監兼会計課長 昨年度、見守りカメラにつきましては、22台予算がつきまして22台設置しております。自治体の頑張りのおかげで、業者から非常に安く見積りを取っていただいて、22万5,000円という1台の上限額があるんですけども、そこまで届かない案件が多数見られましたので、その分が不用額という算定になっております。

◎土居委員 予算としてはもっと活用していただきたいところだと思うんですけど、警察として、こういった補助金のさらなる有効活用に向けて、何か自治体等との連携で取り組んでいることはあるのでしょうか。

◎竹内生活安全部長 まず防犯カメラについては、街頭防犯カメラと子供見守りカメラに分かれておりまして、街頭防犯カメラにつきましては、主に高知市中心街見守り協議会と共同管理をしておりまして、常に連携を図りながら管理運営しているところです。子供見守りカメラにつきましても、各自治体ですとか、各地区の子供見守り協議会、あるいは設置する市町村の組合とか法人等からの依頼がありまして、依頼があったところと共同管理を進めております。

毎年予算を頂いておりまして、そういったところに積極的に防犯カメラをつけませんかと働きかけながら行っておりますので、今後もそういった意味で協力関係は続けていきたいと考えております。

◎土居委員 ぜひ有効活用を図っていただきたいと思います。

最後に、先ほど岡本委員からもあった交通安全施設整備費なんですけれども、繰越しもある、不用額もあるということで、計画どおりに進めておられると思うんですが、全体のそもそもの予算規模も大きいんですけど、ただ施設整備工事請負費が約3,000万円の不用で、維持管理費は1,500万円ぐらいの不用があると。そこそこ大きい不用額なわけですよ。規模的にいったら、1,500万円あったら、横断歩道のいくつかは整備も塗り直しもできるんじゃないかと思うんです。こういう決算の実績とかを踏まえて、来年度以降も予算組みの時点で、何か改善の余地はないのか。地域要望の半分ぐらいしか今応えられていない中で、工夫によってはもっとやれるんじゃないかという思いも持つんですが、その辺はいかがでしょうか。

◎田中総務部参事監兼会計課長 御指摘のありました1,500万円の残の需用費の部分になるんですけども、これは信号機の電気料、あるいは回線使用料に残が出たところです。工事請負費になりますと、エリアを広げて、何十か所もまとめてやるという工事の手法がメインなんですけど、そうではなく、地域から要望があった際に、どうしても緊急性がある

と認められれば、この需用費を活用して、緊急優先的に修繕をやっていこうと今年度から取組を始めております。

◎岡田（竜）委員 施策の成果の御説明で、学校・警察連絡制度のことで、警察から学校への連絡が876人と御説明を頂いたんですけれども、反対に学校から警察への部分の件数がもしあれば教えていただけますか。

◎加藤委員長 なければ後日また、数字を回答いただけますようお願いします。

◎岡田（竜）委員 この制度は、学校と警察がそれぞれ何か犯罪を犯したりした場合の情報を一方に伝える、逆にもう一方に伝える形ですけれども、警察としたら、決して取り締まるだけではなくて、子供たちの早期の立ち直りなどにも、十分御活躍いただきたいわけですが、学校現場からすると、御家庭の状況、保健師が入ったりして、そういうのに携わることもあるんです。警察の立場の方への相談はなかなかしにくい状況があると思っています。この連絡制度では、学校で何か大きな事案があった場合への制度ですけれども、それ以外でも警察の方に、学校現場からもしくは保健師とかそういう立場の方からも連絡があった場合にも、警察官がそのポジションに関わっていただくことで、子供たちの非行の未然防止であったり、早期の立ち直りにもつながると思いますので、敷居を下げて活動もお願いしたいと思っていますので、要請とさせていただきます。

◎中根委員 4ページの自動車運転免許に関係してお聞きします。この間、自動車運転免許を更新するときなども、マイナンバーが導入されたり、いろいろ変化がありました。そんな中で、運転免許窓口事務等委託料に不用が出ていることとか、自動車運転免許費の事務費のところも、安全運転講習費の事務費のところも割と不用額が大きいようにも思いますけど、この辺りはどういうことなのか御説明いただければと思います。

◎田中総務部参事監兼会計課長 運転免許の更新につきましては、原則優良運転者5年で計算して試算しているんですけれども、違反があつて3年になったりというようなところでばらつきが出るもので、そこの読みがうまく当たらなかったのが不用が出たのが正直なところです。

◎中根委員 特別なことがあつたわけではないということですね。

男性の育児休業の問題で、96%と報告を頂きましたが、この中身です。例えば1年取った方とか2年取った方とか、1か月の方とか1週間の方とかいろいろあると思うんですが、取ればいい問題ではないように私は思っていますので、その辺りどの程度の期間を取れたかは分かりますか。

◎柿沼警務部長 平均取得日数ですけれども44.8日になっておりまして、1か月以上取っているものが多いです。最長取得日数では、350日を超える者もおりますので、数字だけではなくて、やはり中身の日数も実態を伴ったしっかりしたものになっておりますし、今後もさらに取組を進めていきたいと思っています。

◎中根委員 1年取られる方は、様々な減給にもなるわけですから。どうですか。

◎柿沼警務部長 給料としては出ないですけれども、今かなり育児休業給付金とか実質的な社会保険料の免除にもなりますので、大分その辺は緩和されてきていると思います。

◎中根委員 子供は増えたけれども給与が減額になることで逡巡する状況は、随分と緩和されてきている。みんなが長く取っても職場の条件さえ整えば大丈夫という気風になってきていますか。

◎柿沼警務部長 そのように考えております。

◎畠中委員 様々な委託先の中で、高知県交通安全協会の名前も出てくるんですけど、交通安全協会は予算が年々厳しくなっているんですが、委託していく中でなくなると大変厳しい現状は出てくると思うんです。その辺について、教えていただきたいと思います。

◎森交通部長 交通安全協会の財政事情が厳しい話は伺っております。今年度も窓口業務の受託に関して、今、自動受付機が免許センターで導入されまして、その案内といったところも交通安全協会に受けてもらいたかったんですけど、余力がないので受けられないということでした。こちらとしてはメニューはいろいろ考えてはいるんですが、なかなか向こうの事情もありますので、こればかりは、こちらでこれを受けてくれというところまでは話を持っていけない状況です。

安全協会の今1番ネックになっているのは、会費収入の減少が大きいところですので、こういったところのやり方について、免許センターの中で、そういった活動する場を少しでも時間を設けてできないかとか、いろいろ相談しながらやっているところです。

◎畠中委員 私も話を聞いている中で、ひょっとしたら2年後3年後には解散ということも考えられるとお聞きしていますので、その辺何か、ぜひ存続できるように考えていただけたらと思っております。

放置駐車車両確認事務委託料とか、自動車保管場所調査事務委託料とかあるんですけど、ALSOK高知株式会社や有限会社くろしおジャパンとかあるんですが、これはやっぱり分けてやったほうがいいのか、例えば一括にまとめて経費を抑えるみたいなやり方はできないものか、気になったんですけども。

◎森交通部長 実際のところは受けてくれるところが少ない状況がありまして、たくさん手を挙げてくれるところがあれば、そういった分散もできるかとは思いますが、受けてくれるところが限られているので、そういったところをお願いしている状況です。

◎畠中委員 今分かれているので、まとめられてもいいんじゃないかと思ったんです。

◎田中総務部参事監兼会計課長 車庫証明の調査員につきましては、特段制約はないんですけども、放置駐車車両につきましては、指定講習時間であったりとか、教育を受ける必要がありますので、その教育に時間がかかるところで、限られた人員でもありますので、今のところはどちらかがどちらにという形にはなっておりません。車庫証明の調査員にA

L S O K高知株式会社が入っていただくのは、競争入札をやっておりますので、やってくれるお気持ちがあればぜひ参加していただいて、一元化も可能かと考えております。

◎竹内生活安全部長 岡田委員からの学校連絡制度による連絡状況についてお答えします。
警察から学校は876人でしたけれども、学校から警察につきましたはゼロでした。

◎加藤委員長 質疑を終わります。

以上で、警察本部を終わります。